

公明党議員団は、平成30年度北区一般会計並びに四特別会計の各予算案について賛成いたします。以下、その理由について、意見を申し上げます。

平成30年度の全5会計の合計は約2,349億2300万円、前年度より約32億1,850万円増、うち一般会計は、約88億7,800万円増の約1,556億9,800万円となり、その配分としては、「長生きするなら北区が一番」の実現に約24億400万円増の約638億円、「子育てするなら北区が一番」をより確かなものにする取組みに約65億600万円増の約468億円を配分して、北区に生まれ、住み続けて良かったと思える 全世代型の施策の推進に多くの予算を配分しました。

すなわち、若者、高齢者、障害者の誰もがいきいきと暮らしていけるよう、ウォーキングポイント事業や若年健診の開始、胃がん検診における内視鏡検査の導入、北区版地域包括ケアシステム構築に向けた推進体制の強化、コミュニティソーシャルワーカー配置拡大、昼間の手話通訳者養成コース開催などに取り組むこととしています。また、学校図書館指導員の配置拡大や教育相談体制の充実など

「教育先進都市・北区」の推進に取り組むとともに、子育てファミリー層・若年層が安心して住み続けられるよう、保育所の待機児童解消対策の推進、子育て世代包括支援センター機能整備や安心ママヘルパー事業の拡充による、妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援を行う仕組みの構築、新入学児の就学援助費の前倒し支給の開始、ひとり親家庭等学習支援事業の拡充、子どもの居場所づくり活動事業の拡大などに取り組むこととしています。

これらは、すべての人が輝き、生きがいを持って生活ができる、地域が支え合う共生社会をめざす 我が会派の提案・要望が反映されており高く評価いたします。

更には、既存事業の見直し、使用料の改定などによる自主財源確保の取組み、基金の着実な積立てと活用、将来負担を考慮した特別区債の発行などにより、必要な財源の確保を図ったこと、避難所開設用 本部キットの導入、無電柱化推進計画の策定、防犯カメラの公園への設置、新庁舎建設、十条駅と王子駅をはじめとした駅周辺のまちづくり、板橋駅や田端駅周辺のバリアフリー化、北区 観光協会の活動への支援、学校改築の取組み、2020年のオリンピック・パラリンピックを見据えた取組みなど、区民が 地域への愛着を持

つことができる魅力ある北区づくりに向け、歩みを進める予算となったことも評価できます。

さて、世界情勢の大きな変動による国や地域経済への影響や、行政需要の増大など、区政を取り巻く環境は、引き続き予断を許さない状況となっております。区長におかれましては、こうした状況をしっかりと見据えながら、国や都の打ち出す新たな施策の動向を注視しつつ、必要に応じて補正予算を組むなどの積極的な対応を図られますよう、改めて要望いたします。

最後に、本委員会で述べました以下の点で、一層の取り組みを求めます。

一、マイナンバーカードの更なる普及促進と

マイナポータルでの子育てワンストップサービス等の導入。

一、更なる保育所の待機児童対策と地域偏在の解消。

一、スクールソーシャルワーカーの全校配置。

一、性自認など、多様性社会の理解促進。

一、区民通報アプリの導入。

一、公民連携による北区の魅力アップの推進。

一、妊娠期から出産・子育て期にわたる切れ目のない支援の

さらなる充実。

一、外国人にも暮らしやすいまちづくりの推進。

一、教員が心身ともに健康で働くことができるよう早急な環境整備。

その他、本委員会で申しあげました各種要望について実現に向けて積極的に取り組むことを求め、平成30年度一般会計予算案並びに四特別会計予算案について賛成をいたします。